



汐見の和

横浜市立汐見台小学校
令和8年8月25日
学校だより 9月号

【学校教育目標】人やものに豊かにかわり、ともに未来を創る子

電話 045-761-1561 FAX 045-754-6409
ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>



校長 高村 彰一

長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な姿が学校に戻ってきます。今年の夏も例年のように、とても暑い日々が続きました。国内だけではなく、海外からも猛暑による影響を大きく受けているニュースをたくさん目にしました。「地球温暖化」という言葉を耳にするようになって数年、地球環境は、本当に“温暖化”の一途をたどっているということを改めて実感した夏でした。まだまだ、厳しい残暑が続くそうだと天気予報等でも伝えられております。皆様におかれましても、くれぐれも体調管理にご留意ください。

時間を大切に ～ まだは、もう もうは、まだ ～

皆さんには、「まだまだ、時間はある。」と置いていたら、いつの間にか、時間が過ぎてしまったという経験はありませんか。私自身も子どもの頃、夏休みの宿題を「8月に入ってからやろう。」などと先へ先へと延ばしてしまい、8月の下旬になって慌てて取り組み、後悔したことを思い出します。

反対に「もう時間がないから。」と言って、途中で物事を投げ出してしまったという経験をしたことはありますか。そういう時は、「まだ少し時間がある。」と考えてみてはいかがでしょうか。残された時間はわずかな時間だったとしても、何か少しでもできることはないかと考えたり、実際にわずかばかりでも物事を進めてみたりすると、その後、気持ちよく過ごすことができるかもしれません。

「時間を大切に過ごしましょう。」という言葉、生活目標などでよく耳にします。時間を大切にしなければ、あっという間に時間は過ぎていってしまいます。しかし、時間を大切にするということは、必ずしも、何でも早く物事を済ますということではありません。どれだけ、その時間をしっかり過ごすことができたのかということになります。今日一日を終える時に「今日はいいい一日だった。」と思えたならば、それは今日一日という時間をしっかり過ごすことができたということになるのでしょうか。

一日は24時間、一時間は60分、誰にでも平等に同じ時間だけあります。寝て過ごしていても、読書や運動をしていても、1時間は1時間です。私たちに与えられている時間は無限ではありません。さあ、前期の後半が始まりました。これからの日々を、皆さんは、どのように過ごしていきますか？

防災の日

この夏休み中にも、全国各地でさまざまな災害が発生しました。被災された地域の皆様、関係者、ご家族の思いを察するに、大変苦しい思いをされていることでしょう。まだまだ、厳しい生活が続いていますが、一日も早い、復興と皆様の静穏な生活の戻りを願うばかりです。

さて、9月1日は、「防災の日」です。古くは、関東地方を中心に大きな地震が起きた日。そして、その後もいくつかの大きな台風が日本の各地に上陸し、大きな被害を受けたことが重なり、防災に対する意識を高めるよう、この日を「防災の日」と定めています。

日常生活の中では、なかなか意識することは少ないかと思われますが、いざという時のために、平穏な時にこそ、いざという時の備えについて、話し合っておくことが大切です。この夏の災害も、突然やってきました。災害はいつやってくるかわかりません。ご家族そろって、いざという時の対応について、話し合っておくといでしょう。